

# Shin Club 33

(株)辰通信 Vol.33

2002年12月

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f

Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450

## 今月のトーク 「ギャラリーに住む」

油彩画家・小堀四郎(1902-1998)は、8年間のフランス留学を経て帰国、森鷗外の次女杏奴と結婚しましたが、1935年に起きた美術界の混乱に失望し、その後ひたすら自宅で製作する日々を送りました。作品のほとんどを売ることも譲ることもなく手元におき、妻の献身的な支えもあって、晩年においても80号、100号の大作を手がけるなど旺盛な制作意欲を維持しつつその生涯を閉じました。

今回は、その小堀四郎が創作活動を続けた洋館の建てかえ工事について、施主の息子様ご夫婦と設計の鈴木孝紀氏にお話をうかがいました。



森に囲まれた以前の家

昭和8年建造の建物は当時としては画期的な建物でした。あたりはまだ緑が広がる田舎で、近所の農家に来た嫁はこのハイカラな家の前で記念写真を撮るといったのが習いだったようです。敷地はかつて260坪ほどあり、(今回道路拡張工事に幾分取られたものの)広い森の中にたたくむ木製カーテンウォールのアトリエは5m近い天井高の立派なものでした。建てかえは「ギャラリーとしての伸びやかな空間とプライバシー」というキーワードからスタートしました。いくつかの案を経て、「南側の庭に面した3部構成」という以前の家のコンセプトが生かされることになりました。4.5Mスパンの箱が3つ、実はこれで木造なのです。1階の端の2部屋は、それぞれリビングとダイニング。大きな吹き抜けをもち、ガラス窓から庭が一望できます。庭には、今回、舞台のような大きなデッキが設けられました。中央には樹が植えられる予定です。2つの部屋にはさまれてギャラリースペースとなる応接間があります。作品の多くは、豊田市美術館と世田谷美術館に寄贈され、自宅にはお気に

入りの数点だけを飾るようになりました。

一方以前アトリエがあった北側は、ユーティリティ機能を持つスペースになりました。キッチン、バスルーム、洗面所、トイレが引戸で区切られている、連続した空間です。特にガラスで仕切られた階段脇のバスルームは、キッチンから玄関へと続く廊下のようなスペースです。2階は寝室と、大きなクローゼット。階段にも蔵書の多いお二人のために本棚が用意されています。キッチンの吹き抜けの上部には、グリサイユ様式のステンドグラスが入れられました。階段の上にはご主人の隠れ家のような小さなスペースがあります。屋根にも出ることができ、庭を眺めるとおきの場所になっています。

住宅というより、「居住性のあるギャラリー」といった趣のこの空間に、ご夫婦はとても満足しています。欧米での生活経験もあるお二人は、お互いのプライバシーをととても尊重しています。お医者様であるご主人は、趣味のピアノを楽しまれ、また各地のシニアマラソンに参加して何度も入賞しているスポーツマン。大学教授である奥様は、退任後は知人や教え子が集まるサロンとしての楽しみ方を考えています。お二人とも第一線を退かれてもお子様やお孫さんに囲まれた隠居生活などは夢にも思っていない。

小堀四郎夫妻は、戦争当時も、灯火管制の下、アトリエに暮を引いて音楽をかけ、ダンスを踊っていたそうです。ご主人もほとんどの男の子が丸坊主のときにも長髪を通し、人と安易に同化しないスタイルを貫かれてきたとのこと。その生き方は、年をとっても曲げることはできないとおっしゃる言葉が印象的でした。



構造:木造、地上2階  
用途:専用住宅  
設計:鈴木孝紀  
(株)ハル建築研究所  
竣工:2002年9月

北側全景:2階外壁と屋根は現場で仕上げた板金加工。樹木を痛めないよう、作業には気を使った。南側全景:柿や榎、道路拡張のために少し切りざらざるを得なかった楓など見事な高木が建物を囲む。1階ギャラリー:室内は白い壁で統一。温熱環境のメインシステムは、温水床暖房とヒートポンプを使った床吹出空調。建物上部の暖気も床下に送られ、室内へ。キッチン:階段室は仕切りがガラス。左側の通路はバスルーム、洗面、トイレとつながり、玄関へ抜ける。玄関脇通路:一階は隣地との境界に余裕があるため外壁に杉を採用。建物はスタイロフォームで外断熱を行う。ダイニング側の大きな庇とテラス:2階中央が寝室。ダイニング:床タイルの蓄熱効果は暖房だけでなく冷房でも発揮され、ひんやりした空気が心地よいとのこと。1階リビング:3つの穴は空調に空気に戻すための空気取入口。キッチン上部の吹き抜けに造られたステンドグラス:ご主人はフランス滞在中にロマネスク建築に興味を持たれ、造詣が深い。左の黒い箱には空調器が入っている。バスルーム:必要以外のところは思い切ってコンパクトにした合理性が象徴されている箇所。

## TOPICS

### 「川口プロジェクト (地鎮祭)」 (11月18日) 川口市

構造:RC造 地上9階  
用途:共同住宅  
設計:谷内田章夫/ワークショップ+野口信彦/TPO  
完成予定:2003年11月  
川口駅前を通る産業道路沿いに建つマンションです。



### 「上原3丁目マンション (地鎮祭)」 (11月12日) 渋谷区

構造:SRC造、地上9階  
用途:共同住宅  
総合企画:(株)開地総合企画  
設計監理:(有)高山企画設計  
完成予定:2003年10月  
井の頭通りに面して建つ、3棟からなるマンションです。



### 「南麻布の家」(10月引渡し)港区

閑静な住宅街の中、打ち放しの美しい建物が出来上がりました。

設計:武松幸治  
(E.P.A.環境変換装置建築研究所)



### 「目白台の家 T邸」(8月引渡し) 文京区

RC造 地上3階建の住宅です。バリアフリーで、暖炉も設置されています。お客様のため、健康に配慮した塗料を使用しています。

設計:松家克 (株)アークス建築研究所 撮影:篠沢建築写真事務所



全景  
エントランス正面  
一階エントランス  
三階リビング  
三階テラスから内部を臨む

## WHAT'S NEW ~ from this month's magazine ~

### 「商店建築」 2002年12月号

「特集 FAÇADE DESIGN(ファサードデザイン)」の中で8月にお引渡しした、青山の「MASUNAGA1905」が紹介されています。設計のサイトウマコト氏本人のコメント、建物の夜景写真が掲載されています。

### 「NEXUS」 2002 12月号

巻頭特集「建設産業のネクスト・ソサエティ」 知識労働者・建設テクノロジストの時代が始まった 「倒産という苦境を経験し、社員が自立した会社に転身」という記事で弊社社長森村和男と松村拓也のインタビュー記事が掲載されています。



## INFORMATION

冬期休暇 平成14年12月28日(土)～平成15年1月5日(日)

### 求人のご案内

弊社では、右記要領にてスタッフを募集いたします。自由で、全員が経営に参加する活力ある会社と一緒に作っていきましょう。「建築屋」を目指す意欲のある方のご応募をお待ちしています。

現代は、選ばれる企業のみが生き残る厳しい時代です。弊社は貴方を審査しますが、貴方も弊社をきちんと審査しなければいけません。まずは、お問い合わせの上、ぜひ弊社をご訪問下さい。ご希望の方は、お電話またはE-mailでお問合せください。E-mail: shin@esna.co.jp Tel:03-3486-1570 総務 武藤まで訪問日は追ってご連絡させていただきます。

職種:施工管理業務、積算業務、他  
勤務地:東京都渋谷(本社)、都内及び近隣の各作業所、その他(在宅等)  
募集人数:3名程度  
応募資格:特に制限はありませんが、1級建築士・1級建築施工管理技士を優遇(平成15年高校大学建築系学科新卒者も可)  
待遇:弊社規定による  
選抜方法:人事面接、社長面談、作文  
応募方法:会社訪問の上、所定の用紙にてお願いいたします。  
締切日:随時